

大正十一年四月
隈侯爵邸寄贈



撒遜ノグランドデューク名爵公ヨリノ来翰
一翰啓呈致候過節ハ態々貴信ヲ投セラレ殊ニ
日本工藝ノ所産色々兄ノ盡カラ以テ取集メ遣
ハサレ大慶斜ナラス存候就テハ右感謝相述度
早速愚翰差立候処更ニ到着致サ、ル趣遺憾ノ
以テ止ム所之レ無キ儀ニ候ルシ兄カ好尚ニ從
ヒ余カ為メニ聚集セラレタル品々ノ如キ實ニ
日本妙工ノ感服ス可キ者ト謂フ可ク今余カ秘
藏ニ歸シテ永ク快樂ニ伴ハントスル者還又何
ノ慶カ之ニ如カン請フ余カ兄ヲ謝スルノ切意



ヲ容レヨ

蓋シ現今日本ノ情况タル中余カ意ノ以テ関涉
スルヤ切ニシテ之ヲ惟フノ念日一日ヨリモ厚
シ今夫レ同國ノ人民挙テ知識ヲ研キ善良ノ志
意ヲ決シテ政府ノ勇進勉力ヲ補助スルニ至ラ
ハ果シテ一大開明ヲ致スニ庶幾カラシム
故ニ兄又累子テ貴信ヲ投セヨ余カ意ノ以テ快
樂ト為ス者之レニ過クルアラス且ツ請フ同國
大臣岩倉閣下ニ面謁シテ余カ常ニ日本國上進
ノ道ヲ助ケントシ之ニ盡スノ切ナルヲ傳ヘヨ

先頃余カ送致セルヤナ^ニ大学校ノ教授表及ヒア
イゼナク山林学校ノ学制等定テ當今兄ノ許ニ
之アル可ク冀クハ兄ノ尽力ヲ以テ右大学校及
山林校エ日本ヨリ留学生ノ送致アラシメン
トテ恐惶

一千八百七十六年一月五日

ウエーマル府

ケール、アレキサンドル

バロン、グラン、シールボルト貴下

4-12

